

がん体験記 ～肺がん検診～



【がん検診を受けてよかった】

私は現在62才。45才の時、定期的にうけていた職場の健診で、肺にすりガラス様の小さな影が見つかった。CTを撮ると、右上葉に8mm大の腫瘍が写っていた。

良性か悪性か不明だったが手術を受けた。結果は超早期肺がん。5年の経過観察のみ。

その後も元気に過ごしている。あの時に検診で「がん」が見つかっていなかったら、2年もせずして天に召されていただろう。それを機会にドックなどの検診を続けている。生かされた命、大事に生きようと思う。

60歳代 女性

【思い切って受けてよかった！】

ちょうど1年前の7月、福山市のがん検診で肺がんの疑い要精密検査「判定E」の通知が届きました。顔から血が引いていくのが自分でも判りました。

その日の午後、すぐに妻と共に内科へ駆けつけました。レントゲン、CT写真など（精密検査をうけるため）A病院を紹介してもらいました。結果が出るまで恐怖の20日間でした。

結果は、癌ではなかったのですが他の病気が見つかり、現在も治療を続けております。妻の姉は肺がんの手術を受け、月に2回、通院しています。姉は通院日の前夜は「がんが再発していないか、転移していないか」と考え、なかなか寝つけないそうです。抗がん剤も使っており、同じ通院でも大違いです。

私はその後「咳がよく出る」時は血液検査をし、感染症を調べたりします。定期的に検査も受けています。今週末はB病院で年1回のがん検診です。検診を受けると、がんもがん以外の病気も早期に発見し、治療を受けることができます。もうドキドキする気持ちは全くありません。

80歳代 男性

